



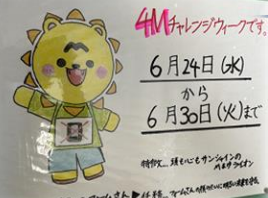
# 明峰

令和8年6月29日

第 8 号

校長 岡野利男

※明日まで、  
4Mチャレンジ  
ウィークです。  
スマホやゲーム  
に負けない!!



## 明日から！学期定期テストです!!

「我が子が初めて中学生としての定期テストを迎える」という保護者の方も少なくないですよね。中にはお父様・お母様の方が“ゆっくりしているようにしか見えない我が子の姿”にやきもちされているかもしれません。いや、“あまりに試験のことを心配し過ぎてナーバスになっている我が子”を心配されている方もいるかと思います。ドキドキですね…。

昨年の学校だよりでも、度々触れてきましたが、「テスト」をどう受け止めるかということ、子供を見守る大人として考えたいものです。極論を申し上げれば、今回のテストで問われる知識の内、お子さんの将来の生活に直接関与するものは限定されるでしょう。むしろ、テストに臨む我が子を見ながら、

○見通しをもって計画する力は付いているか。

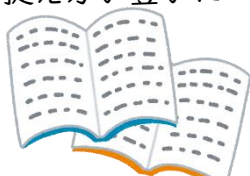
○大切なことを『習得』する術を持っているか。

○コツコツと努力を積み重ねる忍耐力があるか。といったことを見取っていただきたいと思います。得点は当然気になります。平均点も然りです。それは親御さんとして当然のことでしょう。でも、先述したような力が付いたかどうか、そのことをテスト終了後に、お子さんと話してみてください。

さて、「将来の生活に直接関与する知識は限定される」などと言いましたが、どうぞ誤解なさらぬようお願いします。もし、生徒が「関数なんて自分の将来に必要な」「ずっと日本に住むのに英語を勉強する意味が分からない」と口にするようなことがあったら、私はピシャリと言います。

この国では、15歳になるまでに、生涯を生きるために必要なことの基礎を学ぶようになっている。だから「義務教育」という。知識があるからこそ、見える自然現象、芸術の世界、社会の動きがあるはず。無駄な知識など一つもない。

勿論、様々な考えがあることは承知です。でも、知識を持つことで、ものの見方や捉え方が豊かになる。もちろん、そのためには、当然ながらに我々教師側の授業が魅力的なものにならないといけない。



テストを通していろいろなことを考えた次第です。

## 明峰中学校を応援してくださる方々の存在

6月は数多くの地域の方が学校を訪問してくださった月でした。去る25日（木）は、今年度の第1回学校運営協議会が開かれたところです。

今年度から本校はコミュニティ・スクールとなりました。コミュニティ・スクールとは学校だより第1号にも紹介したとおり、「学校運営協議会」を設置した学校のこと。明峰中の学校運営協議会は、私を含めて11名で構成しています。私を除く10名の皆様には、私とともに学校運営に携わる責任と権限を持っていただくこととなります。第1回目の集まりですから今後の見通しを持っていただくために幅広く意見を出し合う場としましたが、その中で「地域や保護者にとって学校はやはり敷居の高い存在になっている。」ことが課題となりました。9月に開催予定の第2回協議会ではこのことをテーマに熟議することを確認したところです。

また、当日は、学校運営協議会の前に、「拡大学校運営協議会」と称して、たくさんの民生委員さんや自治会長さん方をお招きして学校生活の様子をお聞きいただいたり、授業参観をしていただいたりしたところです。生徒たちもなんとなく緊張の面持ちでした。【拡大学校運営協議会の様子】



木曜日以外もたくさんの方に来校いただいたところです。図書ボランティアの方がブックコートにしてくださいました。地域の有志の方が家庭科の浴衣着付けの実習にゲストティーチャーとして来てくださいました。長崎県警サイバーセキュリティ対策課の方、諫早市の地域



おこし隊の方等々…。

皆さんに心から感謝です。